資料２

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた事業所アンケート結果について

送付事業者数	165
回答数	58
回答率	35.2%

問１　現在貴事業所において、提供しているサービスをお答えください（複数回答可）。

No.	回答	回答数	全体からの割合
1	ヘルパー派遣（身体介護あり）	7	12.1%
2	ヘルパー派遣（家事の援助）	7	12.1%
3	ヘルパー派遣（通院の介助、身体介護、乗降介助あり）	4	6.9%
4	ヘルパー派遣（通院の介助、同行のみ）	6	10.3%
5	外出支援（移動支援、同行援護、行動援護　など）	6	10.3%
6	計画相談支援、ケアマネジメント支援	12	20.7%
7	各種通所事業	20	34.5%
8	グループホーム事業	13	22.4%
9	訪問看護事業	2	3.4%
10	その他	5	8.6%

問２　現在貴事業所において、精神障がいのある方への支援を行っていますか。

No.	回答	回答数	全体からの割合
1	はい	25	43.1%
2	いいえ	33	56.9%

問３分析

○ 時間やマンパワーを要した点

・ 個別対応の必要性
・ 繰り返しの行動に対する対応
・ 支援にかかるまでに時間がかかる。
・ 支援者の不足
・ 報酬単価の不足
・ 支援機関との情報共有

○ 工夫されている点、特に力を入れている点

・ 本人の安心を最優先
・ 日頃からの関係性作りには特に意識をしている。 出来る事と出来ない事を明確に最初にお伝え
・ 事業所のみで色々な課題や対応をしないようにしている。
・ できないことは何度も説明する。
・ 一緒に対応や説明する人（支援者）を増やす。
・ MCSでグループ化して、情報交換に努めている。
・ 症状が悪化したい場合には早い段階で頓服薬を飲んでもらう。
・ 話の交通整理
・ 考察だけに頼らず、関係している支援員とも交え情報共有を行う
・ 研修に参加し、メンタルヘルスについての知見を学ぶ。
・ 支援提案と指導は違うので、その点の配慮は重要にとらえ対応している。
・ ストレスヒアリングの実施
・ こだわり、に関しては、事前（前日）に確認
・ 電話に関しては、できる限り対応
・ サービス担当者間で共有し、対応が統一できるように留意
・ 傾聴はするが、淡々と対応
・ 本人が大切にしていることを理解
・ どうしたいかの希望をを一つずつに分けて対応
・ 簡潔にお伝え
・ 相談を大事にしている。
・ 気持ちの移り変わりなどの現状の聞き取り。
・ 定期的な通院の確認（通院日処方せんの写し外来後報告記入）
・ 困りごと相談--専用の記入用紙にご記入いただき、支援者で共有確認後対応
・ 工賃とは別に賞与の支給。それをきっかけに自信がつき就労された方もおられる。
・ バランスの取れた弁当を作業実施し、希望される方には無料で提供している。
・ 外部訓練外部の職業評価を導入
・ 月に一度メンバーミーティングを開催。その際に利用者さんからの意見や相談を受ける。ミーティング後に顧問医も見えて利用者さんからの相談などを受けている。
・ 月に１度施設内で昼食会の開催、レクリエーションを行い、利用者さん同士、職員とのコミュニケーションを図る。
・ 生活面での留意点など声掛け。
・ 急な休みや早退、遅刻に柔軟に対応する。
・ 自分自身の感情に気づけない、自分の好き嫌いが分からない方に対して、ネガティブ感情の表出、そこからの内省と自己理解、適切な感情表現ができるように導くための各種プログラムを行っている。

問４分析

○ 支援を行えない理由（回答要旨）	回答数
・ 依頼・ニーズがない	6
・ 児童の対応事業所のため	2
・ 人員不足・精神疾患の知識の不足	5

○ どのような支援（補助金、支援制度等）があれば対応できるか

・ 公的サービス以外のサポート
・ 人員不足に関するケア
・ 緊急時の受診等に迅速に対応できる体制整備
・ 専門研修の実施
・ 専門職員の派遣、長期にわたる職員養成の制度設備
・ 従事している職員の還元されるような補助金、支援制度